

2023 年度愛生会看護専門学校 自己点検・自己評価

厚生労働省から示された「看護師養成所の教育活動などに関する自己評価指針」に基づき、下記の通り評価を行った。



I 教育理念・教育目的
本校の特徴を、教育理念、教育目的に明示しており、そのための教育課程を編成している。教員の教育活動の指針となっているが、学生の学習の指針となるように働きかける必要がある。
II 教育目標
教育方針としてアドミッションポリシー、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーを設定している。教育理念・教育目的と一貫性があり、職員だけでなく学生にも分かりやすく表現してある。
III 教育課程経営
科目構成は本校の特徴をあらわし、科目進度も学生に負担がかからないように調整して授業の時間割を考えている。各教員の担当科目と時間数を調整し、専門性が発揮できるように配慮している。しかし、学生指導やクラス運営、実習指導や職責に伴う業務負担等により、授業準備の時間確保が十分でない。また、臨地実習において、施設によっては指導体制が不安定な所も見受けられ、学生の学びを深められる機会を損ねている場合がある。臨地実習指導者と教員が連携し、協働して体制を整備していきたい。
IV 教授・学習・評価課程
授業内容や方法は会議を活用したり、領域間や担当者間で話し合いを進めたりと、適宜調整を行っている。シラバスは統一した内容のものを学生に提示できているため、学習指導の一貫性はあると考えるが、学習の動機付けや支援となるようにするにはさらに工夫が必要である。
各科目担当や領域担当の工夫により、ルーブリック評価を含めた多面的な評価が取り入れられている。授業評価、実習評価は、事務の主導で進められており、客観性と公平性が保たれるようになっている。評価結果をもとに授業研究へと発展的な取り組みにつながるようにしていきたい。
また、学生への個別の学習相談、学習指導等も臨機応変に対応し、学力向上に努めている。

V 経営・管理課程

施設設備の老朽化が進んでいるが、定期的、計画的に校舎設備の補修、Wifi 導入、電子テキストの導入等の教育設備の整備、図書や教材の購入を図っている。感染予防対策、危機管理体制も適宜見直しを図って充実できるように整えている。国家試験対策は外部講師とともに1年生から計画的、段階的に進めている。

財政基盤については、当法人の経営状況に左右される環境であることは否めない。奨学金の返済についても給付型と貸与型に変更となったが、高等教育負担軽減新制度の活用等の限られた範囲の中で創意工夫により環境を整えていく必要がある。

学習活動に関する情報提供は、定期的な保護者会の開催、個人懇談を実施している。

広報活動については、近隣の中学校からの上級学校訪問の受け入れ、高校への進路相談会への参加、専任教員養成講習会の受講生の受け入れ、臨地実習指導者講習会への講師派遣等、多岐に渡り本校の教育力をPRすることに努めている。

VI 入学

アドミッションポリシーを設定し、入学者選抜の要件を明示している。しかし、18歳年齢の減少に伴い、受験生及び入学者の確保が難しくなっている。そのため、オープンキャンパス、学校・病院見学、近隣高校の訪問、小論文講座の開講等、受験生確保の手段を講じている。法人と連携して SNS での情報発信とともに、口コミによる効果を高めるためにも、教育力の向上に努めていきたい。

VII 卒業・就職・進学

卒業時の到達状況は、卒業時に学生に学校評価アンケートと看護実践能力の到達度調査を実施して分析している。就業、進学結果は、本校の設立趣旨に沿った支援ができていると考える。

法人内の病院、施設を含む就職先病院からの評価や、問題把握の方法は確立できていないため、活動状況の実際について調査を行い、カリキュラムの運営に反映できるようにしていきたい。

VIII 地域社会／国際交流

地域貢献として、学生個々によるボランティア活動への参加や、名古屋空港救難訓練、愛生すこやかフェスタで近隣住民への校内の解放、きた・きたフェスタにおける、法人内出展ブースでの活動を行っている。国際的な視野を広げるための科目は設定しているが、留学生、帰国子女の受け入れを行っていない、本校の現状があらわれている。

IX 研究

「Ⅲ 教育課程経営」で述べた通り、学生指導やクラス運営、実習指導や職責に伴う業務負担等により、授業準備の時間確保が十分でない現状から、研究活動としての時間を捻出することは難しい。しかし、会議や領域内での話し合い等により、科目内容、授業方略を検討していることから、教員個々の教育力向上への意欲は高い。今後は研究活動を支援できるような環境を整えていきたい。

総括

本校は、3つのポリシーに基づき、学生の主体性を引き出す関わりや、きめ細やかな教育・指導体制を整えており、教育活動は本校の教育理念・教育目的に沿って行われていると評価できる。今後は、実習施設との連携・教職員間の協力支援体制を充実させること、法人と連携して、更なる地域交流の機会を増やし、地域に貢献できる看護師の育成を目指していきたい。

学校関係者評価 総括

- ・教育理念、目標のに基づき、日々の教育活動や学生支援に丁寧に取り組んでいる。
- ・教員らは、教育実践内容を振り返りながら常にブラッシュアップする努力をし、熱心である。
- ・高い国家試験合格率を維持しながら、法人内や地域に貢献できる看護師を輩出している。
- ・18歳人口減少や看護基礎教育の大学化の流れの中、定員数を確保することができている。
- ・地域貢献については、地域性を鑑みて法人内の地域貢献活動に参加し職員と共に地域住民へ関わることをしている。

以上のことより、看護師養成所として素晴らしい教育、学校運営をしていると評価していただきました。今後もよりよい教育、学校運営を推進していくため、学校関係者の皆様から頂いた意見を真摯に受け止め、地域に貢献できる看護師育成をしてまいります。